



2025 年 6 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社テリロジーホールディングス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 達
(コード番号 5133 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先
役職・氏名 取締役副社長執行役員グループ経営本部長 廣谷慎吾
電 話 03-3237-3437

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社取締役会は、コーポレート・ガバナンスコードで実施が要請されている当社取締役会の実効性についての分析・評価を実施いたしましたので、ご報告いたします。

記

I. 評価の方法

- (1) 対象者：取締役・監査役 8 名
- (2) 実施期間：2025 年 4 月 25 日～2025 年 5 月 21 日
- (3) 回答方法：【アンケート方式】
 - ・全 25 項目に対し、5 段階評価
 - ・評価理由や意見等を必要に応じて自由欄に記載

II. 2024 年度の取締役会の実効性に関する評価の結果（概要）

アンケートの分析・評価結果の概要は、以下の通りとなりました。

① 取締役会の役割・機能について

取締役会の役割・機能については、自社にとっての取締役会の在るべき姿は明確になっているという評価が高かった一方で、次世代後継者の育成計画や、取締役の報酬についての議論が少ないとの意見がありました。特に後継者育成計画については、今後数年先の経営メンバー候補を考えた場合、人選・育成ともども優先度高いテーマであるとの意見がありました。

② 取締役会の構成・規模について

取締役会の構成・規模については、前年同様、取締役の人数やスキルバランスは適切に配置されており、社外取締役の役割期待は明確であると評価されました。一方で、現在の取締役会メンバーは多様性が確保されているとは言えないとの意見があり、今後多様性を確保するための議論を求める意見がありました。

③ 取締役会の運営について

取締役会の運営については、開催頻度や決議・報告項目、及び議事運営についてはいずれも適切で活発な議論が行われているなど、全体として実効性が確保されていると評価されました。一方で、リスク管理委員会からの報告に対しては平時対策がどこまでなされているか不明といった意見がありました。

④ 監査機関との連携について

内部統制やリスク管理体制の整備、内部通報制度の構築とこれらの運用状況については、全体として実効性が確保されていると評価されました。特に内部通報制度に関しては、社内周知の徹底のみならず通報制度の利用しやすさ向上にも注力しているとの意見がありました。

⑤ 社外取締役との関係について

社外取締役による会社経営方針や経営改善への助言、経営全般の監督、利益相反の監督については、弁護士・会計士の知見や経験を十分に発揮し、全体として実効性が確保されていると評価されました。

⑥ 株主・投資家との関係

自社の経営戦略・ガバナンス体制等については適切に開示しているとの評価であったものの、株主との対話促進においては、これまで以上の頻度・内容の工夫が必要であるといった意見がありました。

⑦ 総括

総括として、昨年度と比較してガバナンス体制の拡充については、規程の整備や体制の改編などにより実効性がより確保されていると評価されました。

Ⅲ. 今後の対応について

当社の取締役会は、上記の分析・評価結果を踏まえ、次世代後継者の育成計画や取締役の報酬他意見が寄せられた事案につきましては、取締役会場で議論を行うなど取締役会の実効性を一層高めるための取り組みを強化・継続してまいります。

以 上